

## 季節を感じる行事 節分は一年の締めくくり

副校長 澁田 美穂

一月終わりには厳しい寒さとなりましたが、天気の良い日には校庭で遊ぶ子どもたちの明るい声が響いています。早いもので令和五年度も、残りわずかとなりました。子どもたちは各クラスや学年で、学習や活動のまとめや新しい学年への準備に取り組んでいます。

「鬼は外。福は内。」二月三日の節分の夕方には、隣近所から大きな掛け声が聞こえてきます。私の家の節分の準備は、花屋さんで柗飾りを買ってくることに、節分の豆の用意。節分の日の夕方には、家族が節分の豆をフライパンで炒る豆の香ばしいにおいが漂います。玄関の外に柗飾りを飾り、豆まき用のマスに家族の用意した豆をいれて、家族全員がそろうのを心待ちに待ちます。家族全員がそろって節分の始まりです。ドアや窓をすべて開け、年男や年女の家族が先頭になり、元気よく大きな声で「鬼は外。福は内。」と豆をまきます。そのあとは、豆まきのみめを年の数だけ、みんなで味わって食べ、それぞれの成長を確認したり、これからの自分のめあてを話したりしました。日常生活の中に季節ごとの行事があり、そのいわれや行事での準備などは、家族や近所の大人の方から聞いて育ちました。令和の今、子どもたちは節分の日をどのように過ごしているのでしょうか。

節分は、鬼を追い払い新年を迎える行事、立春の前日の行事です。二十四節気において立春は新年のはじまりで、節分は大晦日的な日であり、江戸時代までは一年の締めくくりの日だったそうです。窓を開けて豆をまき、邪を払い福と春を呼び込む「豆まき」は、子どもたちも楽しめる日本の伝統行事です。学校では給食でイワシ料理や大豆料理を献立に取り入れ、お昼の放送の「ぱくぱくだより」で節分についての話をします。「節分」と「豆まき」について、その成り立ちを子どもたちに伝え、各ご家庭でも「豆まき」をして、福と春を呼び込む行事を子どもたちと楽しんでください。子どもたちから「豆まきをしたよ。」という話がきけることを楽しみにしております。

令和五年度の締めくくりにおけ、子どもたちを取り巻く保護者・地域の皆様と教職員で協力しながら、心豊かな子どもたちを共にそだててまいりましょう。皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

